

あきる野市教育委員会 殿

あきる野市立草花小学校  
校長 田中 淳志

令和4年度教育課程について（届）

このことについて、あきる野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（ふたば学級〔知的障害〕）の教育課程を下記のとおり届けます。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

生物は海から発生し、太陽のエネルギーを得て、大地に根を張り、幾多の豊かな次世代の生命を繰り返し育んできた。これを受け継ぐ私たちは、生命の尊重と生命の豊かな育みを常に心がけていきたい。こうした考えに立ち、本校は、人権尊重と社会貢献の精神を踏まえ、主体的に生きる力を培い、国際化・情報化社会に対応できる資質や能力の育成を目指し、次の目標を設定する。

○海のように大きな心（思いやりの気持ちを持ち、自分と友達を大切にする子）

◎太陽のように輝く自分（よく考え、進んで学ぶ子）〔重点〕

○大地のようにたくましく（心と体をきたえ、粘り強く取り組む子）

(2) 特別支援学級（ふたば学級）の教育目標

- ア 協力し助け合う子 ・集団生活の中で仲良く協力し合える子どもを育てる。
- イ 自分の考えが伝えられる子 ・表現する意欲を高め言語能力やコミュニケーション能力を高める。
- ウ 心身ともに健康な子 ・心身の発達を促進し自然に親しむ豊かな情操を育てる。
- エ 意欲的に物事に取り組む子 ・豊かな人間関係を築き自ら物事に取り組む気持ちを育てる。
- オ 自分のことは自分でする子 ・日常生活の基礎的な知識・技能を身に付け習慣化させる。

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

ア 「海のように大きな心」を育むために

(ア) 教育活動全体を通じた人権教育及び道徳教育の充実を図り、児童の状態に応じて特別の教科道徳の時間を適切に設定し、互いを認め合い、思いやりの気持ちをもって実践する児童を育成する。

(イ) 挨拶や礼儀、基本的な生活習慣、社会生活におけるルールを身に付け、他者との関わりを通して、規律ある集団の中での安定した生活を過ごすことができる児童を育成する。

(ウ) あきる野市特別支援教育推進計画に基づき、通常の学級や特別支援教室と連携し、通常の学級との交流活動及び共同学習を充実させ、児童一人一人の教育的ニーズに沿って支援する特別支援教育を推進する。

イ 「太陽のように輝く自分」を育むために

(ア) 個別指導計画や学校生活支援シートを作成し、体験的な活動により個別最適な学びや協働的な学びを充実させ、各教科における基礎的・基本的な内容の定着と言語能力やコミュニケーション能力を向上させる。

(イ) 総合的な学習の時間や生活単元学習を通して、地域と連携し、地域の自然や伝統・文化に関わる教育を推進し、郷土を愛する心情や社会で自立し主体的に活動できる実践力を育てる。

(ウ) 学校図書館を充実し、読書活動の取組を推進し、主体的に読書を楽しむ児童を育成する。また、ICTを活用した授業や特別支援学級での外国語活動を積極的に推進する。

ウ 「大地のようにたくましく」育つ児童を育むために

(ア) 計画的に体育及び健康に関する指導を実践し、体力づくりと心身の健康及び感染症対策に努めるとともに、主体的に健康を増進する児童を育成する。

(イ) 家庭や地域と連携し、心や体についての基礎的・基本的な知識の定着を目指す食育を推進する。

エ 信頼される学校づくりのために

(ア) 学校経営方針に基づく学校評価や学校評議員会の結果を活用し、教育活動の改善と充実を図る。また、学校公開やホームページを通して学校の情報を定期的に発信するとともに、説明責任を果たす。

(イ) 特別支援学級設置中学校との連携及び幼保小連携を計画的に推進するとともに、ESD・SDGsの視点から特色ある教育活動「草花“るの育”」を推進し、将来の生き方や生活を考える基盤を形成する。

(ウ) 大規模災害発生時の対応等、あらゆる事態を想定した防災教育を徹底し、安全教育の充実を努める。